

# 日本のお祭り in やまぐち 2022

題字 山本一遊

つどえ、  
維新の地やまぐちへ  
世界へ広がれ、  
祭りの力



全国の祭りが  
山口県に集結

## 事業報告書

2022 10/8・9

メイン会場

KDDI維新ホール(山口市)

サブ会場

中央公園(山口市)

[主催]第30回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」実行委員会、山口県、山口市、一般財団法人地域伝統芸能活用センター

[後援]国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK

[協力]公益社団法人日本観光振興協会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

# in やまぐち 木の祭り 2022

題字 山本一遊

## CONTENTS

開催概要	1
各会場プログラム	2
開催記念式典	3
表彰式	4
令和4年度受賞団体一覧	7
山口県外・海外の招聘団体	11
県内出演団体	12
メイン会場フィナーレ	16
展示・イベントコーナー	17
記念撮影会	18
サブ会場の催し	19
各種啓発物およびPR活動	21
実行委員会委員名簿	22
来場者アンケート集計	23

## 開催概要

名 称	第30回地域伝統芸能全国大会 「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」
愛 称	日本の祭りinやまぐち2022
テ ー マ	つどえ、維新の地やまぐちへ 世界へ広がれ、祭りの力
開催期間	令和4年10月8日(土)・9日(日)
開催場所	メイン会場／KDDI維新ホール 山口県山口市小郡令和1丁目1-1 サブ会場／中央公園 山口県山口市中園町1
主 催	第30回地域伝統芸能全国大会 「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」実行委員会、 山口県、山口市、一般財団法人地域伝統芸能活用センター
後 援	国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、 総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK
協 力	公益社団法人日本観光振興協会、 公益社団法人全日本郷土芸能協会、 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
出 演	32団体 598名

入場者数	10月8日(土)	10月9日(日)	計
メイン会場	1,300人	900人	2,200人
サブ会場	3,000人	1,500人	4,500人
計	4,300人	2,400人	6,700人

### 司 会

やまもと てつや  
**山本 哲也**

NHK放送研修センター専門委員。山口県萩市(旧旭村)出身。NHKアナウンサーとして「ひるどき日本列島」や「ゆうどき」キャスターなど数々の番組を担当。現在は、総合TV日曜朝「小さな旅」旅人、「ラジオ深夜便」アンカーを務める。



さいとう のりこ  
**斎藤 典子**

「やさしい英会話」(現Eテレ)でデビュー。「スーパーモーニング」(テレ朝)、「日曜国基対局」(テレビ東京)、「キャブテン川淵の行こうぜ! オレたちのニッポン」(ニッポン放送)、「薬用養命酒」(CM)などに出演。「世界らん展日本大賞」を始め、イベントMCやナレーターとしても活動。現在「Welcomeクラシック」(BS朝日)にてナレーションを担当中。



# 各会場プログラム

メイン  
会場

## KDDI維新ホール

### 10月8日(土)

開演 12:15

開催記念式典・表彰式 12:15~

- 第一部 14:00~
- ・岩国行波の神舞（山口県岩国市）
  - ・富田人形（滋賀県長浜市）
  - ・江刺鹿踊り「百鹿大群舞」（岩手県奥州市）
  - ・土佐絵金歌舞伎（高知県香南市）

- 第二部 15:35~
- ・朝倉の梯子獅子（愛知県知多市）
  - ・川邊志津枝（島根県浜田市）
  - ・◎奄美の島唄（鹿児島県喜界町）
  - ・◎篠笛（東京都八王子市）
  - ・◎山口鶯流狂言（山口県山口市）

フィナーレ ~17:00 終演

※◎印はコラボ公演

### 10月9日(日)

開演 12:00

- 第一部 12:00~
- ・大板山たら太鼓（山口県萩市）
  - ・久賀引山太鼓（山口県周防大島町）
  - ・龍王伝説（山口県山陽小野田市）
  - ・ロータスの伝統的な踊り（ベトナム）
  - ・東京高円寺阿波おどり（東京都杉並区）

- 第二部 14:00~
- ・徳地人形淨瑠璃（山口県山口市）
  - ・昇殿 巫女の舞（山口県萩市）
  - ・土居神楽舞（山口県山口市）
  - ・切山歌舞伎（山口県下松市）
  - ・三作神楽（山口県周南市）

フィナーレ ~16:00 終演

サブ  
会場

## 中央公園

### 10月8日(土)

開演 12:00~

- ・ふしの岩戸太鼓（山口県山口市）
- ・十二の舞（山口県山口市）
- ・福賀神楽（山口県阿武町）
- ・岩戸神楽舞（山口県宇部市）
- ・阿月神明踊り（山口県柳井市）
- ・山代白羽神楽（山口県岩国市）
- ・平家踊り（山口県下関市）

- 第二部 15:00~
- ・宇部南蛮音頭（山口県宇部市）
  - ・北河内神楽（山口県美祢市）
  - ・北中山子ども神楽（山口県岩国市）
  - ・ロータスの伝統的な踊り（ベトナム）
  - ・東京高円寺阿波おどり（東京都杉並区）

フィナーレ ~17:00 終演（もちまき）

### 10月9日(日)

開演 12:00~

- 第一部 12:00~
- ・古式行事（山口県山陽小野田市）
  - ・土佐絵金歌舞伎（高知県香南市）
  - ・南京玉すだれ（山口県防府市）
  - ・小鰐代神楽舞（山口県山口市）
  - ・寿獅子舞と篠笛（東京都八王子市）
  - ・江刺鹿踊り「百鹿大群舞」（岩手県奥州市）

- 第二部 14:40~
- ・富田人形（滋賀県長浜市）
  - ・岩国行波の神舞（山口県岩国市）
  - ・朝倉の梯子獅子（愛知県知多市）
  - ・奄美の島唄（鹿児島県喜界町）

フィナーレ ~16:20 終演（もちまき）

# 開催記念式典 10月8日(土)12:15～ KDDI維新ホール



お言葉 高円宮妃殿下

開催記念式典は、KDDI維新ホールで行われました。式典では、一般財団法人地域伝統芸能活用センター名誉総裁であられる高円宮妃殿下からのお言葉を賜るとともに、中村徹一般財団法人地域伝統芸能活用センター会長、地元主催者の村岡嗣政山口県知事、伊藤和貴山口市長による挨拶、和田浩一観光庁長官、田中一成経済産業省商務・サービス政策統括調整官より来賓の挨拶が行われました。



主催者



来賓



主催者挨拶  
中村 徹  
一般財団法人  
地域伝統芸能活用センター会長



主催者挨拶  
村岡 嗣政  
山口県知事



主催者挨拶  
伊藤 和貴  
山口市長



来賓挨拶  
和田 浩一  
観光庁長官



来賓挨拶  
田中 一成  
経済産業省  
商務・サービス政策統括調整官

# 表彰式 10月8日(土)12:36～KDDI維新ホール

式典に続いて、高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞、地域伝統芸能奨励賞、第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞の授賞式が行われました。受賞者には中村会長より表彰状が贈られ、続いて高円宮妃殿下より記念メダルの授与が行われました。

## [令和4年度 受賞団体]



高円宮殿下記念  
地域伝統芸能賞  
岩国行波の神舞保存会



地域伝統芸能大賞  
保存継承賞  
富田人形共遊団



地域伝統芸能大賞  
活用賞  
奥州市江刺鹿踊保存会



地域伝統芸能大賞  
支援賞  
川邊 志津枝



地域伝統芸能大賞  
地域振興賞  
土佐絵金歌舞伎伝承会



地域伝統芸能  
奨励賞  
朝倉梯子獅子青年会

## 第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞



三作神楽保存会



銀鏡神楽保存会



のんのこ諫早まつり振興会



長浜曳山の名工



橘ひょっこ踊り保存会



島根県立浜田商業高等学校郷土芸能部

# 表彰式 10月8日(土)12:36～ KDDI維新ホール

## 記念メダル



高円宮殿下記念地域伝統芸能賞



地域伝統芸能大賞 保存継承賞・活用賞・支援賞・地域振興賞



地域伝統芸能奨励賞

第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞

[ 表 ]

[ 裏 ]

地域伝統芸能大賞、地域伝統芸能奨励賞及び第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞のメダルは、山口県の伝統的工芸品である「萩焼」で作られ、表には県花「夏みかんの花」や魅力的な景勝地である「錦帯橋」「国宝瑠璃光寺五重塔」、裏には「秋吉台カルスト台地」が描かれています。

## 記念品



大内塗「大内人形」



大内塗「箸」

室町時代の大名である大内氏の栄華を今に伝える山口県の伝統的工芸品「大内塗」は、朱漆塗の上に色漆で秋草模様と金箔の大内菱をあしらった優雅な姿が特徴です。

# 日本の祭り in やまぐち 2022

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった「令和2年度静岡大会」「令和3年度鹿児島大会」の表彰も行われました。

## [令和2年度静岡大会 受賞団体]



高円宮殿下記念  
地域伝統芸能賞  
西浦田楽保存会



地域伝統芸能大賞  
保存継承賞  
毛馬内盆踊り振興会



地域伝統芸能大賞  
支援賞  
柿田 勝郎



地域伝統芸能  
奨励賞  
静岡県立横須賀高等学校  
郷土芸能部

## 記念メダル



地域伝統芸能大賞  
保存継承賞・活用賞  
支援賞・地域振興賞  
地域伝統芸能奨励賞

## 記念品



駿河竹千筋細工「花器」

静岡市の伝統工芸品で、1620年頃から製造され始めたとされる駿河竹千筋細工は、細やかな「竹ひご」と「曲げ」「継手」の技により生まれる端正で優美な曲線が特徴です。

## [令和3年度鹿児島大会 受賞団体]



高円宮殿下記念  
地域伝統芸能賞  
硫黄島八朔太鼓踊り保存会



地域伝統芸能大賞  
支援賞  
横尾歌舞伎保存会 床山衣裳部



地域伝統芸能大賞  
地域振興賞  
天孫降臨霧島九面太鼓保存会



地域伝統芸能大賞  
地域振興賞  
鶴見田祭り保存会

## 記念メダル



地域伝統芸能大賞  
保存継承賞・活用賞  
支援賞・地域振興賞  
地域伝統芸能奨励賞

## 記念品



屋久杉工芸「箸」

県指定の伝統的工芸品である屋久杉工芸品で、屋久杉職人が一つ一つ丁寧に仕上げた手馴染みの良い箸です。

# 令和4年度 受賞団体一覧

## 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

山口県岩国市

いわくにゅかば

かんまい ほぞんかい

## 岩国行波の神舞保存会

岩国行波の神舞の起源は寛文8年(1668)以前とされ、式年祭は寛政3年(1791)から始まり、足掛け7年目ごとに絶えることなく行われています。もともと神官が主体の社家神楽でしたが、明治4年の太政官布告で神官による神楽奉納が禁止された後は、里人によって神楽が継承され今日に至り、現在は保存会と地域住民が一体となり古くから受け継がれてきたこの伝統文化を継承しています。式年祭では、当地河川敷に神殿を設け、一昼夜半をかけて全十二座と八関の舞を奉納するほか、毎年10月中旬の秋季例祭では、地区的鎮守・荒玉社の境内でその一部を奉納します。こうした伝統的神事の継承に加え、岩国市における伝統芸能の保存と地域文化の高揚のため毎年開催される「岩国民俗芸能まつり」にも継続的に出演しています。式年祭は、神事であるものの観光客をはじめ非常に多くの方が来観に訪れ、当地河原が来観者で埋め尽くされ、「岩国民俗芸能まつり」も市内外から多くの愛好者が訪れる行事であり、神舞の保存継承活動を通じて地域の観光振興に大きく貢献しています。

地域伝統芸能の保存と継承に寄せられた高円宮殿下の御遺徳を  
永く伝えるために創設された賞で、特に地域伝統芸能の保存、継承  
及び活用に抜きんでた功績の認められる団体又は個人を表彰します。

芸能名	いわくにゅかば かんまい <b>岩国行波の神舞</b>
出演日	10/8㊁メイン会場・10/9㊂サブ会場



## 地域伝統芸能大賞

多年にわたり、地域伝統芸能の活用を通じ、観光または商工業の振興に顕著な貢献が認められる団体又は個人を表彰します。

### 保存継承賞

地域伝統芸能等の保存や後継者育成に尽力し、その実演を行っている団体又は個人に授与されます。

滋賀県長浜市

とんだ にんぎょう きょうゆうだん

## 富田人形共遊団

富田人形は琵琶湖北東に位置する長浜市富田町の20戸ほどの集落に江戸時代から伝わる人形淨瑠璃で、3人で人形遣いを行い、三味線を用いて演じます。起源は天保6年(1835)にこの地に興行に来た阿波の人形芝居の一座が大雪に見舞われ興行が成り立たなかったため、旅費の代わりとして宿に人形を置いて帰りました。その後村の芝居好きの人々が集まり、その人形を使って淨瑠璃の稽古を始めたのが起源とされています。以来、富田の人々はこの人形を受け継ぎ、地元のお寺などで披露してきました。明治7年に滋賀県の興行許可を得て「富田人形共遊団」として活動を開始し、父子相伝で継承しました。近隣の村でも公演を行うなど地域内外で愛されてきましたが後継者不足により、活動は一時低迷しました。危機感を感じた青年たちが富田以外の人も入れる形に変え、昭和54年に新生「富田人形共遊団」として活動を再開しました。現在では地元の小中学校を始め、県内外の学生に講座を行い、さらには海外からの留学生も受け入れて保存・継承に努めています。

芸能名	とndaにnぎょう <b>富田人形</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



### 活用賞

地域伝統芸能等を活用した行事を行い、その地域が賑やかになっていることに貢献をしている団体又は個人に授与されます。

岩手県奥州市

おうしゅうし えさしきしおどり ほぞんかい

## 奥州市江刺鹿踊保存会

奥州市江刺鹿踊保存会は、江刺地域の鹿踊14団体によって結成されています。「百鹿大群舞」は昭和60年、東北新幹線水沢江刺駅の開業を契機として「他に類を見ない鹿踊団体数を生かして統一した踊りを」と、検討と練習を重ねて誕生しました。江刺の鹿踊団体は大きく分けると2流派あり、行山流と金津流では踊りも口唱歌も異なっており、どの団体もそれぞれの踊りの確実な伝承に尽力してきた中で、流派を超えて1つにまとまろうとしたことはとても大きな驚きです。一般的に、鹿踊が次代に相伝された際は、先代への感謝と歴代踊り手の供養のため「供養碑」を建立しますが、「百鹿大群舞」の創設にあたっても供養碑が建立されており、その大きな決意が伺えます。以降、毎年練習を重ね、「百鹿大群舞」は江刺地域のおまつり「江刺甚句まつり」「江刺夏まつり」での披露はもちろんのこと、大銀座まつり・国民文化祭・大阪御堂筋パレード、天皇陛下御即位10年奉祝パレード、天皇陛下御即位20年奉祝パレード、天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典奉祝パレードへの参加など、全国的な活動を展開し鹿踊を後世に残す取り組みを行っています。

芸能名	えsaしきしおどり <b>江刺鹿踊り「百鹿大群舞」</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



### 支援賞

地域伝統芸能等に係る人材の確保、地域伝統芸能等に係る実演等を行うための施設の確保、衣装・器具等物品の確保、観光の増進等に関する事業等、行事を支えている団体又は個人を表彰します。

島根県浜田市

かわべ しづえ

## 川邊 志津枝

川邊氏は16歳のころ衣裳製作の道に入り、昭和49年に自身の衣裳店である「福屋神楽衣裳店」を開業しました。以降、約45年に渡って神楽団体からの様々な依頼に対応した衣裳を作成し、石見神楽の振興に貢献しています。また技術の継承にも取り組み、これまで2名の従業員が島根県から「ふるさと伝統工芸品技能表彰」を受けるなど後継者育成にも尽力しています。

芸能名	いwamiかぐら いしょう せいさく <b>石見神楽の衣裳の製作</b>
出演日	10/8(土)メイン会場



# 令和4年度 受賞団体一覧

## 地域振興賞

高知県香南市

とさえきん かぶき でんじょうかい

## 土佐絵金歌舞伎伝承会

絵金とは江戸末期、高知城下に生まれた絵師金蔵の通称である。狩野派の画風を学び、家老のお抱え絵師として活躍するが、事情があって狩野派を破門され、城下追放の身となりそして放浪の後、おばを頼って赤岡に住み、旦那衆に乞われて芝居絵を描いた。現在、高知県に残る絵金の芝居絵屏風のうち23点が同町に保存されている。これらの芝居絵屏風(高知県有形文化財)の歌舞伎を実際に演じてみると、土佐絵金歌舞伎伝承会が結成され、平成5年7月に初めて「第17回土佐赤岡絵金祭り」で上演されました。今年で発足30周年、活動の中心である地元芝居小屋「弁天座」も開館15周年を迎えます。コロナ禍で土佐赤岡絵金祭りでの定期公演が2年に渡り中止となったものの、今年は新たな子役や学生も加わり、無事28回目の公演を迎えることができ、多くの方に楽しんでいただきました。まちの誇りである絵金と地元住民が創造した文化を次世代に継承し、地域を越えてコラボするなど活動の幅を広げ、地域振興に取り組んでいます。

芸能名	とさえきん かぶき <b>土佐絵金歌舞伎</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



## 地域伝統芸能奨励賞

愛知県知多市

あさくら はしごじし せいねんかい

## 朝倉梯子獅子青年会

朝倉の梯子獅子は、慶長3年(1598)、朝倉村で農作物を荒らすイノシシを農民が梯子攻めにして退治し、翌年は大豊作になったことから、イノシシを供養するため梯子に登る獅子舞を演じたのがはじまりといわれ、約420年間伝承されている民俗芸能です。朝倉梯子獅子青年会は、知多市朝倉地区の氏神である牟山神社の大祭において、梯子獅子の舞を欠かすことなく奉納するため、演技技術の伝承・保存及び継承者の育成に取り組んでいる高校生から24歳までの若手の集まりです。梯子獅子の演技習得に当たっては危険とも隣りあわせのため、厳しい練習を行い、地域の伝統文化の継承に取り組んでいます。また大祭以外に、知多市の産業まつりや愛知万博のほか、NHKホールでの地域伝統まつり、さらに平成25年の伊勢神宮式年遷宮でも獅子舞の奉納を行うなど、朝倉のPRと地域の振興に大きく貢献しています。

伝統芸能を受け継ぎ、日頃研鑽と地道な努力を重ねている将来有望な新人等を発掘し、激励するための表彰制度です。

芸能名	あさくら はしごじし <b>朝倉の梯子獅子</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



## 第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞

山口県周南市

みつくりかぐら ほそんかい

## 三作神楽保存会

三作神楽は、山口県周南市北西部の和田三作地区に古くから伝承され、7年目ごと(卯年・酉年)の式年祭で地元河内社に奉納されてきました。言い伝えによると大宝年間(約1300年前)に大飢饉があったとき、この地方にも五穀が実らず、疫病が発生し、多くの死者を出した村は悲しみの声で満ちていたと言います。この苦難から逃れようと河内社に五穀豊穣と疫病退散を一心に祈願したところ、翌年からは作物が実り病気も癒えた村には再び平和が訪れました。村人はそのお礼として神楽を奉納するようになった」と地元に伝えられています。式年祭で神殿を設け神迎えをして23の神楽舞を奉納するこの神楽は神祭りの一つの古風な形をとどめ、中世の華やかな芸能を取り入れて祭りの興奮を高めています。昭和62年に山口県の無形民俗文化財に指定され、平成12年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。また、三作神楽保存会は昭和45年に発足し、地元三作の全世帯を会員として「神楽を永久に伝承すること」を会の目的としています。後継者育成にあたっては富田中学校で三作神楽クラブの設立と活動を支援するなど、三作地区に限らず積極的に行ってています。

大会が第30回を迎えることを記念し、長年にわたり、地域の商工業や観光に寄与し、伝統芸能の保存、継承に特に努めてきた団体又は個人を表彰します。

芸能名	みつくりかぐら <b>三作神楽</b>
出演日	10/9(日)メイン会場



# 日本の祭り in やまぐち 2022

宮崎県西都市

しろみかぐら ほぞんかい

## 銀鏡神楽保存会

銀鏡神楽は山岳信仰を基層に持つ夜神楽です。元々は修験者によってもたらされたのですが、その歴史は古く、銀鏡神社が創建された長享3年(1489)には、既に靈峰龍房山麓にあるイチイガシの巨木の下で舞われていました。さらに、天和年間(1681~1684)に銀鏡神社社家の瀬砂淡路守重賢が鷦戸山道場(現鷦戸神宮)から持ち帰った「鷦戸神楽」と「鷦戸鬼神」が従来の神楽に大きく影響を与えて、現在の舞様式になったと言われます。普段は集落各所に御神体として祀られている「面様(御神面)」を着用しての「降居神楽」や、唯一神道の影響を受けた所作や問答が多い点等を特徴とします。また、大祭で「御贊」として数多く供えられる猪頭や、猪狩りを表現した「しじとぎり」等はこの地域の焼畑・狩猟習俗をよく伝えており、民俗学上貴重なものです。西都市内の神楽継承団体(銀鏡・尾八重・穂北・高屋・神代神楽保存会)は、国文祭・芸文祭みやざき2020を契機に「西都「まっぽす」神楽」を結成して「神楽の魅力発信」と「地域活性」に尽力しています。銀鏡神楽保存会はその伝統と経験を生かして、同組織の牽引役を務めています。

芸能名

めらかぐら しろみかぐら  
米良神楽(銀鏡神楽)

※公演なし

長崎県諫早市

いさはや

しんこうかい

## のんのこ諫早まつり振興会

芸能名

いさはや ぶしさらおど  
諫早のんのこ節皿踊り

※公演なし

「諫早のんのこ節」の歴史は江戸時代の参勤交代での出来事が始まりだと言われています。諫早の藩主が江戸参勤交代で箱根の関所を通過中に役人は不覚にも居眠りをしていました。関所を通るときは大鳥毛・槍などの道具類を45度以上前方へ傾けるのが決まりでしたが、役人の声がかからないので、道具を傾けずに通過していました。ところがこれに気付いた役人が「天下の関所を立て道具のまま通るとは何事ぞ。早々に引き返せ」と怒鳴りましたが、行列の最後尾にいた足軽頭の小柳与右衛門が肩衣を脱ぎ、関所の玄関にわらじのまま片足を踏んで「なぜ通らぬ前にとがめない。行列を引き返せ」というなら職務怠慢のその者らがまず腹を召されよ。さらば行列を戻そう」と啖呵を切ると、役人は言葉につまり、行列は関所を通過しました。関所から数キロ離れた所で一行は道端の芝生に腰をおろし「立て道具のまま関所を越えたのは吾が藩のみぞ」と言って酒盃をあげたそうです。その時に歌心ある藩士が即興で「芝になりたや箱根の芝に、諸国大名の敷芝に」と歌ったのが「のんのこ節」の元唄になったと伝えられています。本番祭1日目の「のんのこ街踊り」には、約60団体が参加、参加者総数は毎年増え続け、7千名近くに登ります。期間中は延べ10万人の人出で賑わいます。

滋賀県長浜市

ながはまひきやま

めいこう

## 長浜曳山の名工

芸能名

ながはまひきやましゅうりぎじゅつしゃ  
長浜曳山修理技術者

※公演なし

辻 清氏(金工師)、樋口 安彦氏(塗師)、渡邊 嘉久氏(塗師)は、長年にわたり、国の重要無形文化財である長浜曳山祭の曳山の金工品や漆工品の修理に携わり、技術を継承するとともに独自の作品も制作しています。その技術は専門家から高く評価されています。地域の貴重な文化財の保存活動のほか、長浜以外の曳山や社寺の修理にも携わるなど広域的に伝統文化の継承に貢献しています。

宮崎県日向市

たちばな

おど

ほぞんかい

## 橘ひょっこ踊り保存会

芸能名

ながた おど  
永田のひょっこ踊り

※公演なし

「永田のひょっこ踊り」は、明治期より日向市の塩見永田地区に伝わる民俗芸能で地元の眼科医であった橘公行医師によって考案され、その後、地域の有志でつくる保存会により、今日まで継承されています。昭和59年に始まった「日向ひょっこ夏祭り」は毎年8月に開催されており、当初は27団体、500人に満たなかった踊り手は毎年徐々に増え続け現在では119団体、2,200人が参加し、7万人の観光客が見物に訪れます。保存会は地元の小学生や市民に踊りの指導、模範披露、審査員を努める等、ひょっこ踊りの保存、継承に努めています。

島根県浜田市

しまねけんりつ はまだしょうぎょうこうとうがっこ

## 島根県立浜田商業高等学校

きょうどうげいのうぶ

## 郷土芸能部

芸能名

いわみかぐら  
石見神楽

出演日

10/8(土)メイン会場



石見神楽は島根県石見地方の伝統芸能で、古くは室町時代から舞われていたとの説もあります。明治期に神職の手から地域住民の手へ受け継がれ、舞手や神楽道具に携わる様々な人の努力によって、伝統を受け継ぎ発展を続けています。特に浜田市は八調子神楽発祥の地で、石州和紙で作られた神楽面や大蛇の提灯蛇胴、豪華絢爛な衣裳も浜田で考案・改良され、広く普及されました。現在では日本を代表する伝統芸能の一つとして世界各地での上演も行っています。また、地元の高等学校の部活動にも取り入れられ、地元の伝統芸能の保存継承に努めています。

# 山口県外・海外の招聘団体

## 東京都杉並区

とくていひえいりかつどうほうじん  
**特定非営利活動法人**  
とうきょうこうえんじ あわ しんこうようかい  
**東京高円寺阿波おどり振興協会**

芸能名	とうきょう こうえんじ あわ <b>東京高円寺阿波おどり</b>
出演日	10/8(土)サブ会場・10/9(日)メイン会場



## 東京都八王子市

かがわ りょうこ  
**香川 良子**

芸能名	しのぶえ <b>篠笛</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



## 鹿児島県喜界町

かわばた  
**川畑さおり**

芸能名	あまみ しまうた <b>奄美の島唄</b>
出演日	10/8(土)メイン会場・10/9(日)サブ会場



## ベトナム

ナインフラワーズ  
**9 flowers**

芸能名	でんとうてき おど <b>ロータスの伝統的な踊り</b>
出演日	10/8(土)サブ会場・10/9(日)メイン会場



# 県内出演団体

山口県下関市

## しものせきへいけおどり ほぞんかい 下関平家踊保存会

芸能名	へいけ おど <b>平家踊り</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県宇部市

## いわとかぐらまい ほぞんけんしょうかい 岩戸神楽舞保存顕彰会

芸能名	いわとかぐらまい <b>岩戸神楽舞</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県宇部市

## うべなんばおんど ほぞんかい 宇部南蛮音頭保存会

芸能名	うべなんばおんど <b>宇部南蛮音頭</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県山口市

## おさばだいかぐらまい ほぞんかい 小鯖代神楽舞保存会

芸能名	おさばだいかぐらまい <b>小鯖代神楽舞</b>
出演日	10/9(日)サブ会場



山口県山口市

## あかさきじんじゃじゅうにまい ほぞんかい 赤崎神社十二の舞保存会

芸能名	じゅうにまい <b>十二の舞</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県山口市

## どいかぐらまい ほぞんかい 土居神楽舞保存会

芸能名	どいかぐらまい <b>土居神楽舞</b>
出演日	10/9(日)メイン会場



# 県内出演団体

山口県山口市

## とくちにんぎょうじょうるりほぞんかい 徳地人形浄瑠璃保存会

芸能名	とくちにんぎょうじょうるり 徳地人形浄瑠璃
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県山口市

## いわとだいこほぞんかい ふしの岩戸太鼓保存会

芸能名	いわとだいこ ふしの岩戸太鼓
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県山口市

## やまぐちさぎりゅうきょうげんほぞんかい 山口鶯流狂言保存会

芸能名	やまぐちさぎりゅうきょうげん 山口鶯流狂言
出演日	10/8(土)メイン会場



山口県萩市

## おおいたやまだいこどうこうかい 大板山たら太鼓同好会

芸能名	おおいたやまだいこ 大板山たら太鼓
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県萩市

## こしがはまきょうどげいのうほぞんかい 越ヶ浜郷土芸能保存会

芸能名	しょうでんみっこまい 昇殿巫女の舞
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県防府市

## こてんげいのうなんきんたまやまぐちほぞんかい 古典芸能南京玉すだれ山口保存会

芸能名	なんきんたま 南京玉すだれ
出演日	10/9(日)サブ会場



# 日本の祭り in やまぐち 2022

山口県下松市

## きりやまかぶきほぞんかい 切山歌舞伎保存会

芸能名	きりやまかぶき <b>切山歌舞伎</b>
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県岩国市

## きたなかやまこかぐら 北中山子ども神楽

芸能名	きたなかやまこかぐら <b>北中山子ども神楽</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県岩国市

## やましろしらはかぐらほぞんかい 山代白羽神楽保存会

芸能名	やましろしらはかぐら <b>山代白羽神楽</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県柳井市

## あつききょうどげいのうほぞんかい 阿月郷土芸能保存会

芸能名	あつきしんめいおど <b>阿月神明踊り</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県美祢市

## きたがわちかぐらまいほぞんかい 北河内神楽舞保存会

芸能名	きたがわちかぐら <b>北河内神楽</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



山口県山陽小野田市

## さんようおのだしこしきぎょうじほぞんかい 山陽小野田市古式行事保存会

芸能名	こしきぎょうじ <b>古式行事</b>
出演日	10/9(日)サブ会場



# 県内出演団体

山口県山陽小野田市

## りゅうおうでんせつほぞんかい 龍王伝説保存会

芸能名	りゅうおうでんせつ <b>龍王伝説</b>
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県周防大島町

## くかひきやまだいこほぞんかい 久賀引山太鼓保存会

芸能名	くかひきやまだいこ <b>久賀引山太鼓</b>
出演日	10/9(日)メイン会場



山口県阿武町

## ふくがかぐらほぞんかい 福賀神楽保存会

芸能名	ふくがかぐら <b>福賀神楽</b>
出演日	10/8(土)サブ会場



# メイン会場フィナーレ

10月8日(土)



10月9日(日)



# 展示・イベントコーナー KDDI維新ホール



石見神楽の衣裳(川邊 志津枝) 地域伝統芸能大賞(支援賞)



北中山子ども神楽の衣裳(北中山子ども神楽)



大会題字(山本 一遊)



記念メダル(松尾 藻風・松尾 優子)



狂言であそぼうAI体験『柿山伏』



観光情報コーナー

# 記念撮影会 10月8日(土)18:30～ 湯田温泉ユウベルホテル松政



令和4年度高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞団体「岩国行波の神舞保存会」



令和4年度地域伝統芸能大賞(保存継承賞)受賞団体「富田人形共遊団」



令和4年度地域伝統芸能大賞(活用賞)受賞団体「奥州市江刺鹿踊保存会」



令和4年度地域伝統芸能大賞(支援賞)受賞者「川邊志津枝」、令和4年度第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞「島根県立浜田商業高等学校郷土芸能部」



令和4年度地域伝統芸能大賞(地域振興賞)受賞団体「土佐絵金歌舞伎伝承会」



令和4年度地域伝統芸能奨励賞受賞団体「朝倉梯子獅子青年会」



令和4年度第30回地域伝統芸能全国大会記念特別賞受賞団体



令和2年度静岡大会受賞団体、令和3年度鹿児島大会受賞団体



山口県外・海外の招聘団体



山口県内出演団体

# サブ会場の催し 中央公園

## 歓迎演技 ふしの岩戸太鼓



司会

ばんじ かづき  
萬治 香月

山口市在住。「ちぐまや家族plus」「ちぐまや家族plus<sup>2</sup>」(tys)や山口市政番組「このまちに愛たい」(山口CATV)などリポーター・ナレーターとして活躍中。山口市政番組リポーター歴は20年を越える。趣味は温泉旅行、立ち話。モットーは自然体。

## 体験コーナー



狂言であそぼうAI体験「柿山伏」



大内人形絵付け体験



萩焼絵付け体験



大理石クラフト

## もちまき



## グルメ&縁日コーナー



## 関連イベント



やまぐちオリジナル丼選手権



わらアート展示(わらの動物園)



あぐまるやまぐち(地元農産物等の販売)



第9回湯田温泉酒まつり

# 各種啓発物およびPR活動



ポスター



事前チラシ



観覧者募集チラシ



大会プログラム



うちわ



ホームページ

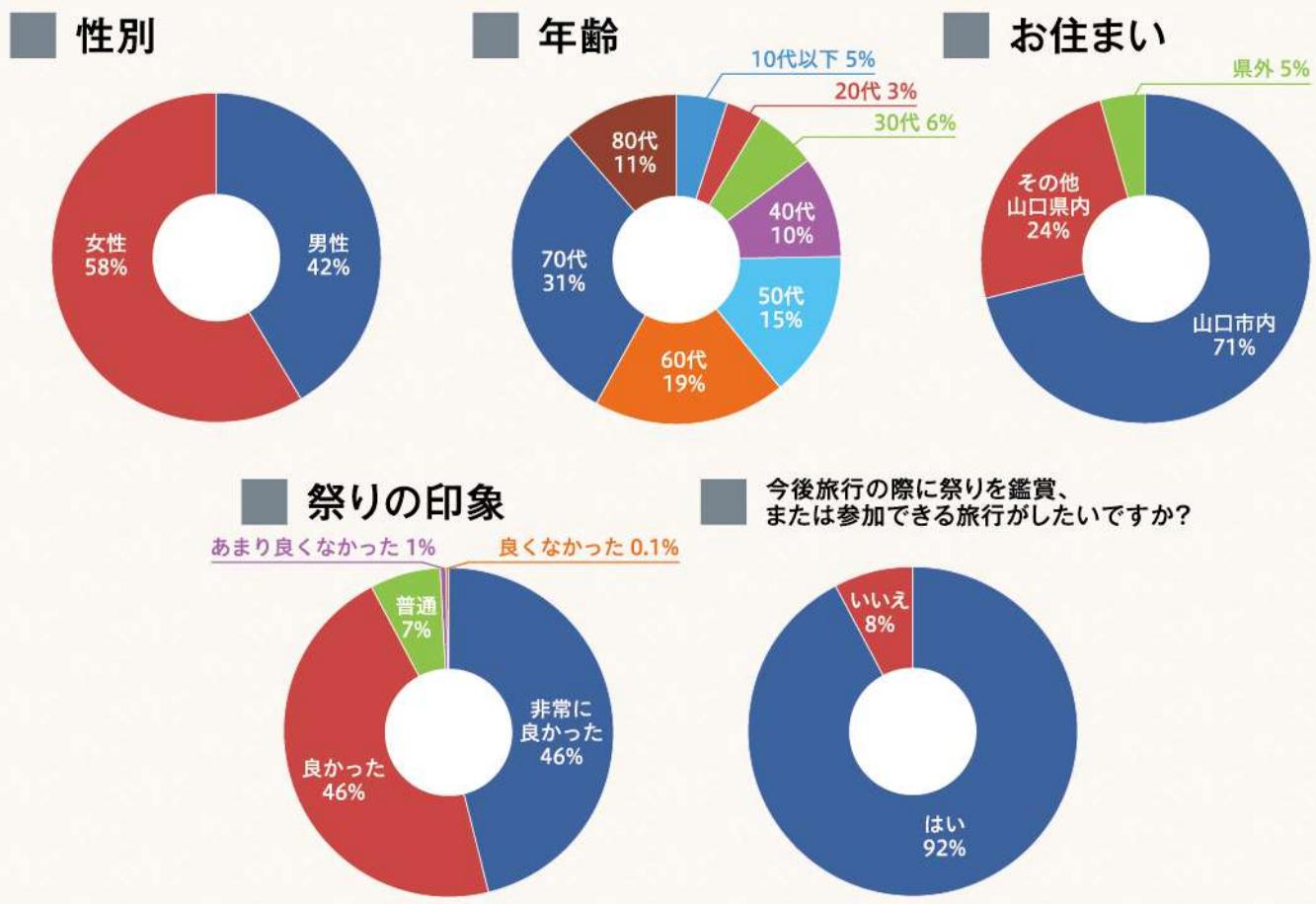


カウントダウンボード

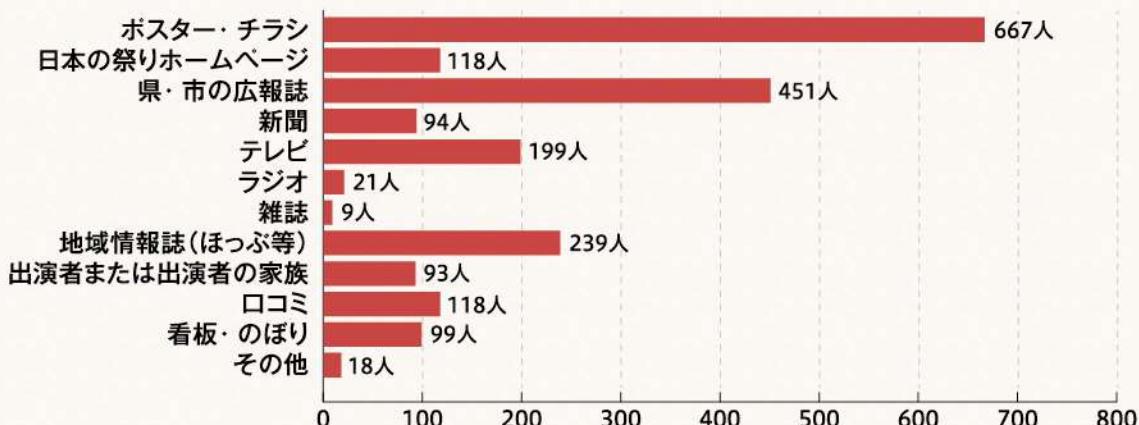
# 実行委員会委員名簿

顧問	中村 徹	一般財団法人地域伝統芸能活用センター 会長
顧問	益田 浩	国土交通省中国運輸局 局長
顧問	青木 朋人	経済産業省中国経済産業局 局長
委員長	村岡 嗣政	山口県知事
副委員長	伊藤 和貴	山口市長
副委員長	寺西 達弥	一般財団法人地域伝統芸能活用センター 理事長
委員	内田 修	一般財団法人地域伝統芸能活用センター 業務第二部長
委員	高山 正浩	国土交通省中国運輸局 観光部長
委員	近村 淳	経済産業省中国経済産業局 産業部長
委員	松村 孝明	一般社団法人山口県観光連盟 会長
委員	西崎 博史	山口県文化連盟 会長
委員	有田 剛	一般財団法人山口観光コンベンション協会 専務理事
委員	大田 正之	山口商工会議所 専務理事
委員	三坂 啓司	山口県観光スポーツ文化部 部長
委員	岡村萬利雄	山口市交流創造部 部長
委員	村田 尚士	山口市商工振興部 部長
委員	古賀 信幸	山口市教育委員会 文化財担当理事
監事	大坪 道信	一般財団法人地域伝統芸能活用センター 監事
監事	原田 英明	山口県観光スポーツ文化部 部次長

# 来場者アンケート集計



## 日本の祭りinやまぐち2022を何で知りましたか？(複数回答)



## 感想(複数回答)

